

- 9月の米雇用統計で、非農業部門雇用者数は市場予想を下回り、4ヵ月ぶりの小幅な増加に。一方、失業率はおよそ50年ぶりの低水準を記録するなど、米国の雇用は緩やかながらも拡大基調を継続か。
- 4日のNYダウは前日比+372ドルで終了し、VIX指数は低下。ただし、当面、景気の先行きに対する懸念がくすぶる可能性も考えられ、市場では今後の経済指標の内容に一喜一憂する展開が続くか。

米雇用増は比較的小幅も緩やかな拡大基調継続か

4日に発表された9月の米雇用統計で、非農業部門雇用者数は前月比13万6千人増と、市場予想の同14万5千人増（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を下回り、4ヵ月ぶりの小幅な増加にとどまりました。

民間部門の雇用者数が同11万4千人増と、市場予想の同13万人増を下回り、小売業や製造業の減少が足を引っ張るかたちとなりました。ただし、前月分は非農業部門が3万8千人、民間部門が2万6千人、それぞれ速報値から上方修正されました。また、小売業については例年、夏場にかけて減少した後、年末商戦に向けて増加するのが一般的な傾向とされ、季節的な要因とみることも可能と思われます。このほか、時間当たり平均賃金の伸び率は前年同月比+2.9%と、市場予想の同+3.2%を下回りました。

一方、失業率は3.5%と、1969年12月以来およそ50年ぶりの低水準を記録したほか、経済的理由によるパートタイマーなどを含んだ広義の失業率（U-6）は6.9%と、2000年12月以来の水準に低下しました。

こうしたことや前月分の上方修正を考えあわせると、米国の雇用は緩やかながらも拡大基調を継続していると考えられます。

4日のNYダウは大幅に2日続伸

雇用統計が懸念されたほどには悪くない内容であったことから、4日の米国市場でダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）は取引開始から上昇基調をたどり、前日比+372ドルで終了しました。また、米国の主要株価指数の1つであるS&P500種指数のオプションから算出された変動性（ボラティリティ）で、市場参加者の不安心理を映すとされるVIX指数は、2日にはおよそ1ヵ月ぶりに20を超えましたが、4日には17.04へ低下しました。

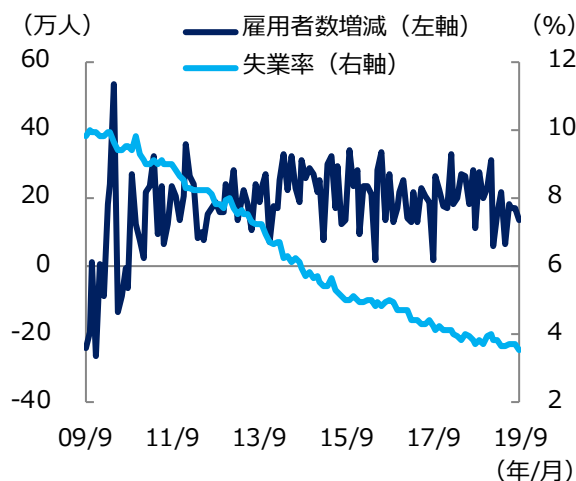
先週に発表された9月の製造業と非製造業の景気指数が悪化したことで市場では米国景気の先行き懸念が高まり、10月月初の2日間でNYダウは800ドルを超える下げ幅となりましたが、その後の2日間で下げ幅の約6割を取り戻すかたちとなりました。

ただし、当面、景気の先行きに対する懸念がくすぶる可能性も考えられることから、市場では今後発表される経済指標の内容に一喜一憂する展開が続くと思われれます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

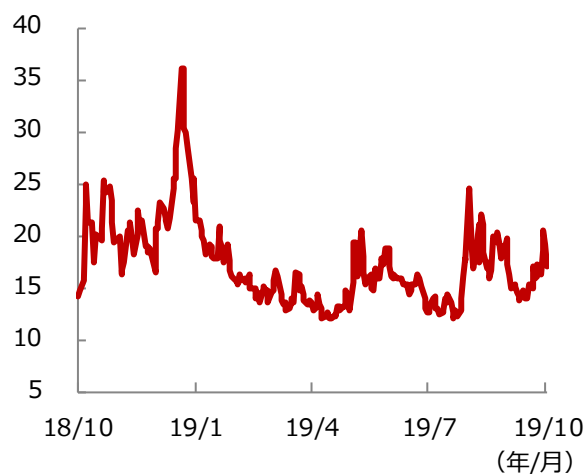
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

米雇用関連指標の推移



※期間：2009年9月～2019年9月（月次）
季節調整済み
雇用者数増減は非農業部門の前月比

VIX指数の推移



※期間：2018年10月4日～2019年10月4日（日次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。